

JOMF 派遣医師便り (2013. 9)

◆ジャカルタ◆

間もなく1年

JJC 医療相談室

原 稔

医療相談室が Wisma Keiai に引っ越して以来、徒歩通勤を続けています。経路はふた通り。スティルマン通りと、裏の狭い通りですが、それぞれ一長一短です。

スティルマンには立派な歩道があります。脇には木が植えられ、車の排気ガスと相まって、直射日光を遮ってくれます。車道は小競り合いを繰り返す車両であふれ、コパジャ（小型のバス）が真っ黒な排気ガスを撒き散らしています。

下に目を落とすと、一年ほど前に設置された視覚障害者用の黄色いタイルがありません。それを作る前にやることがあるだろうと、工事中に思ったものです。下水溝の蓋がめくれあがり、或いは蓋がありません。

手拭いで鼻と口を覆って、落とし穴に注意しつつ歩きます。すぐ横を単車が次々にすり抜けて行くので、後ろにも注意が必要です。黄色いタイルを破壊しながら歩道を走る単車に憤りを覚えました。しかし、単車通勤者たちは、渋滞の中を1時間も2時間もかけて通っていることを考えると、少し端を歩こうかという気になります。

また、最近、歩道にベンチが設置されました。こちらはゴミ集めのおじさんの指定席になっています。

裏通りは距離が短く、何もなければ最短時間で行けます。しかし、時に、どうしてもなくなります。車と単車で狭い路地が雪隠詰めのようになるときです。歩いてすり抜けるスペースさえありません。

こちらは裏通りだけに生活臭が漂います。すぐ隣に立ち並ぶビルの景観とは対照的です。カキリマが並び、ワルンがあり、携帯電話屋があります。隣は外から丸見えの散髪屋です。



家の軒先には洗濯物が干され、女の子が赤ちゃんを抱いています。特に夕方は独特の風情があります。晩御飯の匂い、どぶの臭い、鶏のにおい、排気ガスが順不同に漂う中、子供たちが走り回ります。



先日、後ろから呼び止められました。少し警戒して振り向くと、中年のおっちゃんが寄ってきます。手には見覚えのある手拭い。こっちに差し出しています。私が落としたものでした。ありがとうと言うと、にやっと笑って去って行きました。

医療相談室が再オープンしてから、あっという間の一年でした。

これからも宜しく願っています。